

第1回「京都府の森林管理のあり方」検討有識者会議（今後の府民税のあり方について）
の議事要旨

- 1 日 時：令和7年1月8日（水）9:30-11:30
- 2 出席者：名簿のとおり（三好委員は欠席）
- 3 場 所：京都府公館 第5会議室
- 4 聴取意見の概要

議事(1)「京都府豊かな森を育てる府民税」のあり方に係る検討の進め方について
（意見なし）

議事(2)「京都府豊かな森を育てる府民税」の第2期の振り返り

- ・大きな災害が起きており、防災・減災対策の重点的な実施として、治山施設などのハード整備も必要だと思うが、森林整備も一体的に実施していくべきと考える。また、林業の課題である担い手対策は、譲与税を活用し市町村で実施されているが、府全体で考えていく必要があると考える。

議事(3) 主な論点（案）について

○論点1 京都府豊かな森を育てる府民税の継続の必要性について

- ・ここ10年で、気象条件が変動しており、激甚化する災害への対策の必要を鑑みると、財源を縮小していく時期ではないと考える。近年の気象変動も踏まえ、検討していく必要がある。
- ・防災・減災対策の重要性は今後も増していくと考えるので、規模感の検討をしてほしい。一方で、ほかの人工林整備、木材利用、里山整備についても同様に、規模感が今のままでよいのか検討してほしい。
- ・近年の局地的な雨に対応するためには、府民税による危険木の撤去などの緊急的な対応は必要であると考え。譲与税との役割分担については、市町村には専門職が少なく、両税の使い方がわからないという意見もある。府が引っ張っていく必要があると考える。
- ・今回の3つの論点が重要であると考え。今までの当有識者会議での検証は事業面の評価であり、今回、税制面の検討を行う必要がある。例えば、現在行っていない法人からの徴収について、今後どうすべきか検証が必要である。課税額、税額水準の検討のため、財政需要を算出するなど、独自施策として必要な事業の規模を示す資料などを作成

する必要があると考える。創設から10年たっており、財政需要などの変化を踏まえて、今回の会議で税のあり方を検討する必要があると考える。

○論点2 京都府豊かな森を育てる府民税 市町村交付金の取り扱い

- ・交付金は、森林の少ない市町村では、森林整備に活用できないので、木材利用に活用せざるをえない。そうすると譲与税と用途が重複するのが課題である。
- ・市町村ごとに状況が異なる。森林が多いと防災に対する需要はある。一律配分をどうするのかというのは論点だと考える。申請制・希望性なども検討していく必要がある。
- ・創設時から交付金制度をめぐる状況の変化を踏まえた検討が必要。交付金を扱っているのは、他府県でも少ない。創設時にはニーズがあったかもしれないが、今どのようになっているかを検討すべきである。府における森林の整備に係る水準がある場合、その基準を満たすには交付金が財源として必要であれば、制度は継続すべきだが、その交付金の活用方法に課題があるのであれば、方法を見直すべき。

○論点3 国の森林環境譲与税との役割分担について

- ・どちらの財源を何に活用するかといった役割分担に係る議論を明確にするため、府民税、譲与税の各用途を細分化した資料が必要。
- ・減災・防災は、今の時代において、3つの柱の中で最重点課題になっていると考える。財源に限りがある中で、有効な活用を検討していく必要があり、市町村のニーズを把握した上で、必要であれば、市町村へ提案型やメニュー方式で交付することなどの見直しを考えていくべき。
- ・役割分担の方法として、同じ事業であっても、全国的な水準を達成するために必要な経費には国費を充当し、府として独自に設定した目標を達成するために追加的に必要な経費に府民税を充当するという考えもある。
- ・しかし、徴収の方式が同じであり、府民にはどちらかの税だけでよいのではないかという認識はあると思うので、説明の仕方の工夫は必要であると考え。
- ・譲与税の執行率が低いのに、市町村に府民税を交付するとなると、2つの税を徴収する必要はないのではないかと指摘を受けかねない。市町村において、府民税が必要なのか、またどういった施策に活用するのか整理すべき。

「京都府の森林管理のあり方」検討有識者会議 委員名簿

氏 名	分 野	役 職 等
あいこう まさとし 愛甲 政利	木材利用	(一社)京都府木材組合連合会 副会長
かわかつ たけし 川勝 健志	学識経験者 (税制)	京都府立大学公共政策学部 教授
くりやま こういち 栗山 浩一	学識経験者 (環境経済)	京都大学大学院農学研究科 教授
しのべ ゆきお 篠部 幸雄	府民協働	京都森林インストラクター会 会長
ながしま けいこ 長島 啓子	学識経験者 (森林計画)	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
みよし いわお 三好 岩生	学識経験者 (防災関係)	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授
もりい かずひこ 森井 一彦	森林組合	京都府森林組合連合会 代表理事専務

【五十音順・敬称略】